

第三種郵便物承認 HSK通巻4939号2019年3月13日発行

HSK

会報「石川守る会」

NO.86

石川県重症心身障害児（者）を守る会

全国重症心身障害児（者）を守る会

石川県支部 会長 山本 衛

寒中お見舞い申し上げます！

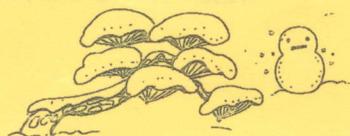
寒い日が続いていますが会員の皆様方、お子様達にはお変わりないでしょうか。日本全国でインフルエンザが猛威を振るっています。

特に障害の重い人たちは感染すると重篤な症状になることがあります。予防には細心の注意を払いたいものです。

さて今年度も賛助会員の皆様方、匿名の方、金沢のライオンズクラブなどからご寄付を頂いております。みなさんのご支援のおかげで「守る会」の活動も続けていくことができます。

子ども達や保護者にとって有意義な活動にしていきたいと考えて取り組んでいます。今後とも皆様方のご協力をよろしく願います。また、2020年には東海北陸ブロック大会の担当が回ってきます。

みんなで知恵を出し合って実りある大会にしたいものですね。



保護者研修会が開かれました。！！！！

～つながり つながる つなぐ～

昨年11月25日医王病院のソーシャルワーカー中本富美先生をお招きして研修会を開催しました。

まず初めに参加者全員の自己紹介から始めました。普段はあまり聞くことのないみなさんの思いが聞けて、なごやかな雰囲気の中で中本先生のお話が始まりました。

最初にご自分の障害者との出会いやその時自分がどう接してきたかなどから話し始められました。また日本福祉大学在学中にバス事故で22人の仲間達を突然失ってしまった体験を通して自分自身を問い直してこられたとのことでした。そんな思いを持ちながら福祉の世界に踏み入れ障害のある人達やその家族との関わりの中で学びながら歩んでこられたとのことでした。病院に入った当初はソーシャルワーカーそのものも知られておらず孤独だったそうですが、子ども達やその家族と出会い、繋がる中でその思いに応えられてきました。

○障害のある子どもの思いに応えるためには多くのハードルがあるが、それらを一つ一つ乗り越えていくことが求められる。そのためには家族、地域、病院、学校などを繋いでいく仕事が大切になる。

○重い障害の子どもやその家族（母親）の迷いに同じ経験を持つ人がつながることでそれぞれの思いを分かち合うことができる。

○災害から尊い命を守るためにあらゆる場面を想定して、子どもと家族、病院、支援センター、事業所、行政などが一緒に創り上げていくことが大切である。

最後に多くの経験の中から学び自分が信頼される存在になってつながりの創造者になっていく必要があると感じられているとのことでした。そして病院以外の子どもの関わる多くの活動に参加されているとの報告もありました。

感想



- ・今まで声をかけてよいのかわからなかったが、気軽に声かけできることがわかってよかった。
 - ・親側に立ってくれての想いを聞けてうれしかったです。何かあれば相談したいと思いました。
- ぬソーシャルワーカーになるまでの自分のことを話してくれて優しさを感じました。
- ・病院の枠にとらわれず様々な活動をされていて素晴らしいと思いました。

～ライオンズクラブよりご寄付を頂きました～

昨年 能美・白山・金沢三市のライオンズクラブより本会にご寄付を頂きました。山本会長が贈呈式に参加して目録を頂きました。お礼の言葉を述べるとともに感謝状をお渡ししてきました。

障害の重い子ども達とその命の限り安心して暮らしていけるための活動に使わせて頂きたいと思っています。ありがとうございました。

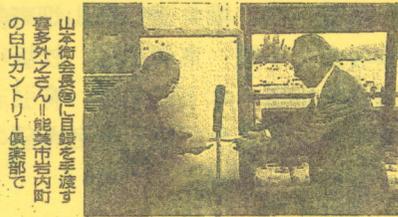
情報提供

- *元NHKアナウンサーの内多勝康さんが医療的ケア児と家族のために開設された「もみじの家」のハウスマネージャーとして就任されています。「もみじの家」は医療型短期入所施設で19歳未満の医療的ケア児と重症心身障害児が利用できます。家族と一緒に泊ってもいいし子供だけでも泊られます。24時間の医療体制が整っていて安心して過ごすことができます。最大11人の子どもが泊まれるのですが申し込みが殺到していて希望の日を利用するのは難しいようです。(詳しくは両親の集い12月号をご覧ください)
- *NPO法人地域ケアさぼーと研究所が訪問教育を卒業された人を対象に家庭などを訪問して学習を行う「訪問カレッジ@希林館」に取り組んできました。一人一人の個性に合わせて週1回2時間の学習をしているとのこと。スタッフは退職した教師がヘルパーの資格をとって学習支援員として訪問しているとのこと。(詳しくは両親の集い10/11月号をご覧ください)

在宅のみなさんへのお願い

厚生労働省障害保健福祉部より「医療的ケア児等医療情報共有推進業」の実施にあたり在宅会員に対して事前登録の依頼がありました。この事業は医療的ケアの必要とする者が遠方への外出・余暇・学校生活における緊急時に備えてあらかじめ医療情報発信しておくことにより迅速に治療を受けるシステムを構築するためのものです。ぜひ送付された事前登録用紙に記載して返送して下さいをお願いします。

5LCC慈善ゴルフ
募金10万円を寄付
県重症障害児を守る会に
能美、白山、金沢三市の
五ライオンズクラブによる
親善チャリティゴルフ大
会が二十日、能美市岩内町
の白山カントリー倶楽部泉
水コースであった。会員か
ら募った十万円を、「県重
症心身障害児(者)を守る
会」に寄付した。
能美、鶴来、金沢南、金
沢みどり、金沢ひかりライ
オンズクラブの三十九人が
出場した。プレー後に開か
れた贈呈式では、能美ライ
オンズクラブの喜多外之志
さんが山本衛会長(左)に
目録を手渡した。山本さん



山本衛会長(左)に目録を手渡す喜多外之志(能美市岩内町の白山カントリー倶楽部で)

は「ありがとうございました」と語り、感謝状を贈った。(吉野博一)
○大会の上位入賞者 ①後秀夫(金沢みどり) ②寺岡勝昭(能美) ③小寺悟(鶴来)

第三種郵便物承認 HSK 通巻4939号2019年3月13日発行
「守る会」へのご協力ありがとうございます。

今年度も多数の皆様から賛助会費並びにご寄付頂きました。
重い障害のある子どもたちのために有効に使わせて頂きます。

- 山田美智子様 今井千代子様 板野かず子様 星山敬俊様
山本久男様 中田勝久様 若村修様 北川明子様 和泉美智枝様
谷内久一様 横井透様 山畑寿美子様 越野亜都子様 泉達郎様
越坂由紀子様 東清美様 松坂明様 山本信一様 西脇瑞枝様
河合隆平様 木下浩美様 音弘志様 犀川明子様 野間比南子様
ライオンズクラブ様 匿名希望の方

今後の予定

5月19日(日) 13時~15時 医王病院地域医療研修室
石川県重症心身障害児(者)を守る会総会

6月8日(土)~9日(日) 東京 グランドプリンスホテル新高輪
全国重症心身障害児(者)を守る会全国大会

9月22日(日) 石川県産業展示館 4号館
石川県障害者ふれあいフェスティバル

11月16日(土)~17日 名古屋市
全国重症心身障害児(者)を守る会東海北陸ブロック大会
来年度の主な行事日程です。これら以外に石川支部独自の行事も計画したいと思っています。ぜひご意見をお寄せ下さい。
尚 大会参加については支部より補助を出す予定です。



編集人	石川県重症心身障害児(者)を守る会
連絡先	929-0123 石川県能美市中町ツ 88-1 TEL0761-56-0610
	会長 山本 衛
発行人	北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 312 番地
定 価	30 円